

— Build the future together with Unity Industry —

# デジタルツインを 実現するUnity

## デジタルツインとは

現実世界にある環境を仮想空間に再現する技術です

建物や工場など現実では即座に用意するのが難しい対象をデジタル空間で簡単に構築することができます

また、リアルタイムデータを活用することで、モニタリングやシミュレーションを実施できます

これにより、設計や運用の効率化、リスク軽減などが容易になります

## デジタルツインにおける5つの成熟モデル

### Level:1 バーチャルツイン

資産、施設、または製品の物理的に正確で現実的なデジタル空間内での表現を実現し、現実世界の対象物を再現します

### Level:2 コネクテッドツイン

ライトタイムデータとリアルタイムデータを統合し、対象資産の特定時点の状態や、パフォーマンスを評価する情報を提供します

### Level:3 プレディクティブツイン

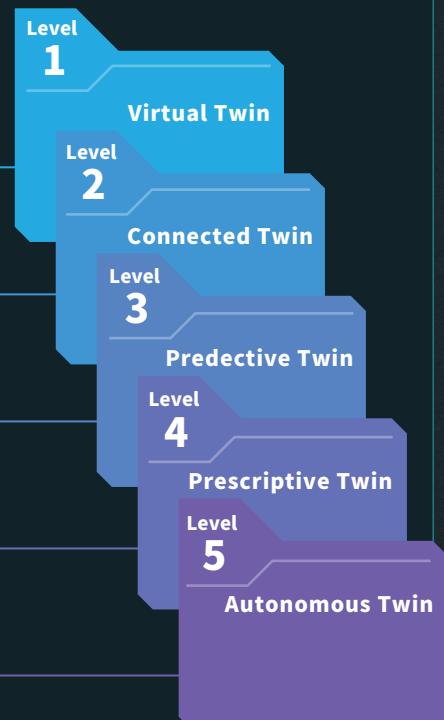
データを活用することで、複雑な施設や、設備などにおける運用の結果や問題を予測します

### Level:4 プレスクリプティブツイン

将来のシナリオを想定した高度なモデリングとリアルタイムシミュレーション、そして規範的な分析・推奨を行います

### Level:5 オートノマストツイン

複数のリアルタイムなデータフィードを使用して学習と意思決定を行い、問題を自動的に修正し、予測的および規範的な分析を可能にします



デジタルツインの成熟度は、3D表現から始まり、リアルタイムデータ統合、予防保全の解析、

処方的シミュレーション、そして完全な自動化へと進化する5段階で構成されています

このプロセスにより、デジタルツインはより高度かつ洗練された形へ成熟します

# 幅広い業務領域でデジタルツインの開発を支えるUnity

Unityとは世界をリードする数多くの企業に採用されている3D開発プラットフォームです

製造や建設・設計、自動車、輸送、医療など、幅広い業界の新たな発展に貢献しています

Unityで作られたアプリケーションの中にはデジタルツインを活用することで、製造現場における

スマートファクトリーの実現や、設計情報の可視化やシミュレーション、デジタルオフィスの構築など、

さまざまな角度からビジネスソリューションを提供しています

## Unity を活用したアプリケーション開発ワークフロー



## デジタルツイン活用例



仮想体験を通じ従業員は安全性を確保しつつ、能力のアップや知識の定着向上が見込まれます



部署間でリアルタイムデータの共有を実現、問題解決および意思決定の効率化を図ります



製品の3Dデータを活用した没入感のある体験により、プロダクトへの理解を深め、顧客満足度を高めます



プラットフォームの垣根を超えてライブデータと連携し、次世代の組み込み体験を3D空間上で可能にします

Unityを活用した  
開発事例一覧 [こちら](#)



# 産業分野のお客様の開発を支援するUnity Industry

Unityを使用した開発に役立つ最適なプロダクト・サービス群で自動車や製造、建設、小売など産業において  
3Dを活用したリアルタイムインタラクションを実現するための製品がご利用いただけます

## Unity Industryに含まれるプロダクト・サービス・サポート



Unity Editor ライセンス



3年間の長期サポート



ソースコード (Read-only)

## Unity Asset Manager

### 3Dデータの表示・検索・アプリ連携

3Dアセットの検索、閲覧、表示、外部コンテンツライブラリへの接続、  
Unityエディタへの直接インポートが可能

### ユーザーやロード毎にアクセスを管理

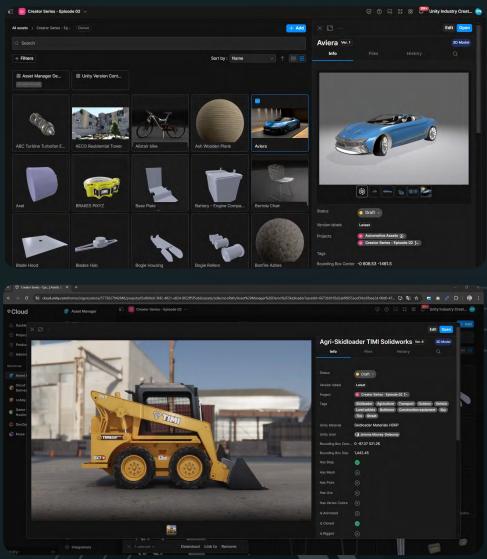
役割ベースのアクセス制御でアセットのアップロード、分類、バージョン履歴を共有

### 3Dデータ変換にも対応

適切な形式に変換し(70以上のファイル形式をサポート)、パイプラインビルダーまたは  
API/SDKを使用して変換パイプラインを構築し、アセットを自動的に変換(または最適化)します

### アセットストレージと高いセキュリティ

セキュアなマルチテナントのクラウドストレージ、またはIDアクセス管理システムとの統合による  
仮想プライベートクラウド(Azure)へのデプロイ



## Industry Success

Unity専任のアドバイザーによる充実したサポート

1ヶ月間のオンボーディング・製品アクティベーション支援

300時間を超えるオンデマンドトレーニングへのアクセス

Unity専任の担当者とテクニカルサポートによる開発支援  
シート数に応じて得られるサポートがことなります (以下参照)

## Unity Asset Transformer Toolkit

CADやBIM、点群など、データの最適化だけでなく製品の階層や  
メタデータを保持した状態でUnityに直接  
取り込むことのできるツールです



### Unity Industry ライセンス (1~3 / 4~9 シート)

- お問い合わせ窓口の設置
- スタンダードテクニカルサポートへのアクセス権
- パートナーリレーションズマネージャーによる以下のサポート
  - 90日のガイド付き顧客オンボーディング
  - 4半期毎のチェックイン
  - Unityエキスパート指導のウェビナーへの案内

### Unity Industry ライセンス (10+ シート)

- プレミアムテクニカルサポートへのアクセス権
- パートナーリレーションズマネージャーによる以下のサポート
  - 継続的な製品のオンボーディングサポート
  - 月毎のチェックイン
  - 必要に応じたオンデマンドトレーニングの案内
  - 顧客サポートを最大限引き出すための事前レビュー
  - ビジネスレビュー(3ヶ月・9ヶ月)

サポートに関する営業担当への  
問い合わせはこちら



そのほか、別途有償にてトレーニング、コンサルティング、プロジェクトレビューも提供しております。



ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

〒104-0061

東京都中央区銀座6丁目10番1号GINZASIX8階

WEB : [unity3d.jp/industry/](http://unity3d.jp/industry/)

X @unity\_japan

Unity Industryについてはこちらから

Unity Industry

